



校長だより

日中丸



第19号
R1. 11. 7

日間賀中学校長
鈴木 康弘

※イラストは、本校生徒 宮地志奈さん が作成

東海北陸地区へき地教育研究大会 11月1日(金)

11月1日(金)に「第33回東海北陸地区へき地・複式・小規模学校教育研究大会愛知大会および、第57回愛知県へき地・複式・小規模学校教育研究大会 第2分散会」を開催しました。愛知県内外から160名を超える先生に集まっていただき、授業や和太鼓演奏を見ていただいたり本校が取り組んできた教育実践について発表したりしました。参加した先生からは、「落ち着いた授業でよかった」「生徒の話し合う姿は参考になった」「生徒のたく和太鼓に感動した」などお褒めの言葉を多くいただきました。私たち職員と生徒と一緒に作りあげてきた日間賀中学校が評価され、たいへん誇らしい気持ちになりました。同時に、生徒一人一人の姿に感謝です。生徒の皆さん、ありがとう。

また、当日の運営には多くの保護者の方の協力をいただきました。ありがとうございました。



朝会より 10.28(月)

生徒発表（10月のテーマ：最近感謝したこと・感謝したいことについて）

新美沙矢さん（1年）

私が最近感謝したいことは、少し前にあった島民体育祭のことで、体育祭のためにいろいろと準備してくれた人や、いろいろな競技に参加してくれた島民の方たちに感謝したいです。いろいろ準備してくれたおかげで、無事、体育祭を開くことができましたし、今回新しく行ったボール送りリレーなど、ほかの競技にも参加してくれて、体育祭がより盛り上がったので感謝したいです。また、応援してくれた家族などにも感謝したいです。リレーで走っているとき、「がんばれ」などの声が聞こえてきてがんばろうと思えました。

次は、自分がされてうれしかったことを相手にできるようにして、自分も感謝される側になっていけるようがんばりたいです。そのためには、思いやりをもって相手に接していきたいです。

宮地颯志さん（2年）

僕が最近感謝したことは、両親についてです。僕の両親は共働きなので、家族みんなでいる時間は朝か晩ご飯の時にしかありません。ですが、僕の家では、1日1回も家族がそろわない日もあります。だから、家族全員がそろった時が僕の一番好きな時間です。それは誰でも同じことだと思います。それほど両親の存在は大きいものだと思います。

また、僕は、友達にも感謝しています。僕は口が悪いけれど、それでも仲良くしてくれる友達もいます。それには、言葉にできないほど感謝しています。

これからも、この気持ちを忘れずに、過ごしていきたいです。

伊藤彰浩先生の話

こんな話をしてくれました。

ある日の給食の時間に、転入生について話題になったことがありました。そのとき、ある男の子が「転入生が来てもいいけど、俺、どうやって友達になっていいかわからない。」とつぶやきました。その言葉に妙になるほどと感じたことを覚えています。そこで、今日は友達に関する詩を紹介します。

友達 ビートたけし

困った時、助けてくれたり 自分の事のように心配して
相談に乗ってくれる そんな友人が欲しい
馬鹿野郎、友達が欲しかったら
困った時助けてやり 相談に乗り
心配してやる事だ
そして相手に何も期待しない事
それが友達を作る秘訣だ



友達と生活していて一方的に期待して、一方的に裏切られた気持ちになって、一方的に怒れてきて、一方的に感情をぶつけて、そしてけんかになって友達との関係がこじれてしまう。そういうことは結構あると思います。

今回のテーマは『感謝』です。私は感謝したときに「ありがとう」という言葉を使います。ありがとうの語源は「有り難し」だそうです。めったにないことに対して使う言葉のようです。相手がしてくれたことを当たり前のことだと一方的に期待していると、自然とありがとう言葉は出てこないかもしれません。これから当たり前のことだと期待せず、自然とありがとうが言える人でありたいと、この詩を知って考えました。

校長の話

こんな話をしました。

先週金曜日に、生徒会執行部が企画・運営をしてくれた「レク大会」が行われました。私は、出張してその様子を見ることはできませんでしたが、たいへん盛り上がったと聞きました。執行部の皆さん、ありがとう。先週も話しましたが、今、日間賀中学校の生徒会活動は、たいへん充実してきていると思います。一人一人が、よりより学校生活のために「やるべきことはやる やった方がいいと思うこともやる やっちゃいかんことはやらない やらん方がいいと思うこともやらない」を意識して、そして、実践してくれている姿だと思います。大変うれしいです。今後も、日間賀中学校生徒会の活躍に期待しています。